

大きく羽ばたいた年輪祭～絆を大きな力に！～

9月13日(水)～15日(金)まで3日間にわたって繰り広げられた、「第61回 敷島中学校 年輪祭」は、とても素晴らしく、輝いていて、私たちに大きな感動を与えてくれました。今年は暑い日が続き、取組も厳しいときもたくさんあったと思いますが、全校のみなさんの熱い思いと、工夫と努力によって、いくつもの壁を乗り越えて、素晴らしい年輪祭ができました。前夜祭では、心をあわせてつくった素晴らしい全校制作の披露がありました。3年1組の中田琉璃愛さんの原画をもとに、全校生徒で作成、今も体育館のステージを彩ってくれています。また、展示部門に見られる、3年生の修学旅行記をはじめ、1年生の校外学習の新聞、2年生の山梨探訪レポート、文化部のみなさんの作品など、一つ一つの素晴らしい作品には、たくさんの個性や努力が活かされ、一人ひとりの成長のあかしが感じられます。開祭セレモニーやカラフルで力作揃いの各学級旗の披露、文化部の発表などもこれまでの取組の成果が発揮され、素晴らしいものでした。3つの文化部(美術・英会話・コンピュータ)の発表も本当にレベルの高い、楽しい内容でした。14日(木)の体育部門では、残暑厳しいなか、様々な種目に各学級が力を合わせ、真剣に取り組む姿があり、大いに盛り上がりました。仲間を信じ、最後まであきらめずに、走り抜ける姿にたくさんの感動をもらいました。また、15日(金)の吹奏楽部の演奏は、本当に見事でした。山梨県勢としては11年ぶりに西関東大会を抜け上位大会へ進む、A部門、B部門で金賞を取った学校は、県内では敷島中が史上初だそうです。歴史を塗り替えた吹奏楽部は、3年生がリードし、1、2年生とともに頑張り、ひとりひとりの想いが強く感じられるような演奏や楽しい演奏を披露してくれました。他の文化部も本当にレベルの高い、素晴らしい発表を見せてくれました。



この年輪祭を通して、1・2年生は、先輩が見せてくれた、尊い姿に学びながら、共に頑張ってくれました。1年生は、初めての年輪祭だったにも関わらず、ハイレベルにフィットしていました。合唱も、競技も、私たちの想像を越えたレベルで、活躍できていて、どのクラスもしっかりとまとまり、よい集団に成長したなど感じました。私は、みなさんのひたむきに頑張る姿を見て、思わず胸が熱くなるような場面が何度もありました。

2年生は、これまでの経験が活かされ、どの場面においても、すっかり安心して任せられるレベルに成長していました。どのクラスも切磋琢磨しながら高いところを目指して、はつらつとした元気さ、明るさ、熱さ、・・・どれをとっても、これからさらに成長し、敷島中をしっかりと支えられるチームになったなど、嬉しく思いました。学年合唱も本当に素晴らしかった。また体育部門では、最後のクラスがゴールするのを応援する、たたえ合う姿に、本当に優しく、そして強い学年に成長したなど感じました。

さて、3年生、活動の推進力となって活躍してくれた、生徒会本部、実行委員会を中心とする、3年生のみなさんに、感謝と敬意を表します。本当にありがとう。思い通りにならないこともあったと思いますが、あきらめずに、くさらずに、投げ出さずに、我慢して我慢して、前に進もうとする、あなたがたの姿は、本当に、本当に素晴らしかったと思います。現実を受け止め、工夫と努力によって、それを乗り越えてゆく。まさに尊敬されるべき人間としての姿でした。その後ろ姿を、頑張る姿を1・2年生に見せてくれたこと、かけがえのない宝物を残してくれたと感謝しています。年輪祭の成功は、あなたがたの頑張りがなければ、ありえなかったです。私たちの人生には、「工夫して乗り越えていく」「互いに力を合わせていく」ことが、繰り返し求められるものです。きっと今回の経験も、こ



れからのみなさんの人生にとって、大きな力になることと思います。学年合唱での3年生全員の姿勢や想い、そして聴衆全員の心を掴んでくださった素晴らしい演奏、体育部門での気迫、頑張り、全校ソーランでのリーダーシップ、忘れることはできません。このように素晴らしい3年生のみなさんに、心からの拍手を贈ります。

敷島中の年輪祭には感動があります。同じクラスや同じチームとして過ごした仲間達と、合唱や競技を通して、心を通わせ、一緒に頑張ったことは、本当に尊いことです。年輪祭の目的、「学校、学年、クラスの絆を深める」という目的の達成に向かって、力を合わせ、みんなの力で、見事に成し遂げた、敷島生徒を、私は誇りに思います。感動をありがとう。

これから、3年生は、しっかりと気持ちを切り替えて、進路選択に向かう意思を固め、そして残りの中学校生活をより充実したものとしていく。

1・2年生は、自分が目指すべき次の目標に向かって、一段と背筋を伸ばして、うまくなってやる、できるようになってやる、乗り越えてやる、という気持ちを固めていく。短い期間の中で、全員が大きく、健やかに成長した姿を見ることができた年輪祭でした。この年輪祭を通して、得た感動、身につけた力をこれからの学校生活に活かしてほしいと思います。次なる自分の目標は何かを、自分の中にしっかりと持って生きる、みなさんひとりひとりの姿を期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様方には3日間、早朝からたくさんの参観をありがとうございました。保護者の皆様方に応援いただき、生徒たちも励みになったことと思います。ありがとうございました。特に、体育部門の日は暑さ指数が上昇することが見込まれたため、閉祭式等は体育館での実施でしたが、熱中症予防のため、翌日に延期させていただきました。たいへん申し訳ありませんでした。生徒の健康や安全を第一に考えての変更であったことをご理解いただきたいと思います。この場をお借りして、今後とも敷島中の教育活動にご理解とご支援を改めてお願いしたいと思います。

<生徒の感想>

☆全校ソーランをまちがえずに踊ることができ、むかでも協力して今までで一番早くゴールすることができました。仲間のことを考え、プラスの気持ちになるような声かけができました。仲間と協力することができ、自分が成長することができた年輪祭になりました。(1年5組 齋藤栄一汰さん)

☆年輪祭を通して、こんなに良い仲間がたくさん出会えてよかったと思った。1-3のみんなと一緒にむかでやなかなわができてよかった。最高のクラスだと思った。(1年3組 稲垣光弥さん)

☆2年4組でできる最初で最後の年輪祭をこのクラスの大切な思い出にできました。合唱、そして体育部門の競技に頑張りました。つらいことや苦しいときがたくさんあったけど、みんなで乗り越えた合唱はとても美しく、競技も全力を出し切ることができました。さらに高みを目指せる2年4組にしていきたいです。(2年4組 高野泰我さん)

☆全力を出し切る年輪祭にしようと思いの練習からしっかり取り組み、仲間と協力できました。年輪祭で創りあげた絆をこれからの行事、そして学校生活の様々な場面で助け合いながら協力し合っていきたいと思っています。(2年1組 保延璃虹さん)

☆クラスみんなでよい年輪祭ができたと思います。なかなわでは最後の練習ではあまり良い記録が出せなかったけど、本番は77回というベストスコアができました。クラスの団結力がより増し、絆が深くなったと思います。これから入試等があり、たいへんですが、クラスのみんなで頑張っていきたいと思っています。(3年1組 吉田理来さん)

☆学年合唱で歌った「リフレイン」。暑い体育館で練習したことが成果となって返ってきてくれたと思う。いろいろな先生方からほめていただきました。練習できてよかったと思いました。体育部門では、私は運動が苦手なので、みんなの足を引っ張らないように、自分なりに精一杯練習に取り組みました。なかなわをとんでいたときに「もっと左！」と、自分自身も苦しいなかでも声をかけ続けてくれた人たちが、私のクラスにはいました。自分も苦しいけれど、人のために声をかけられるような人に自分もなりたかったです。私たちはこれから受験をすることになります。今回の年輪祭で努力することの大切さを学ぶことができたので、それをいかしていきたいです。(3年2組 照屋依智加さん)

